

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年7月22日

BMJ：医療とケア施設でのマスク着用を再び義務化すべきだ：スコットランドのヘルスケアワーカーの要求

東京で毎日60件：コロナ関連救急搬送困難事例

【松崎雑感】

もともとマスク着用「文化」のなかった欧米、たとえばスコットランドで、コロナ再燃が起きており、医療ケア施設におけるマスク着用「再」義務化を要求する声が、ロングコロナ罹患者団体を中心に起きています。日本も「対岸の火事」では済まない状況になりつつあるかも。

医療介護施設でのマスク着用を再び義務化すべきだ：スコットランドのヘルスケアワーカーの要求

Christie B. Covid-19: Bring back mandatory mask wearing in health settings, say Scottish workers. *BMJ*. 2023;382:p1648. Published 2023 Jul 17. doi:10.1136/bmj.p1648

ロングコロナを発症したスコットランドのヘルスケアワーカーグループが、撤廃された医療施設におけるマスク着用の義務化を再び義務化するように求めている。

スコットランドの新型コロナ相談組織に参加しているScottish Healthcare Workers Coalitionは、マスク着用義務をなくした事は誤りで、人々をいつ誰がコロナに感染するかわからない「ロシアンルーレット」の状態に陥れたと主張している。

この団体（Coalition）は、スコットランド当局が5月にマスク着用義務を撤廃した後、イギリス全体で毎週300名が新型コロナで死亡しているというデータを示して、対策が誤っていると主張している。声明は「新型コロナの感染を防ぐ対策を緩和することは、最も感染に弱い人々の命を危機に追いやっている」と述べている。この結果、ヘルスケアワーカーは一般市民の3～4倍コロナに感染する危険を抱えており、NHSは、労働者に安全な就労環境を提供することを義務付ける労働安全衛生法に違反していると主張している。

声明には、ヘルスケアワーカーに、高性能の感染防止用具を配布し、職場の換気とエアフィルターを完全にすることを要求している。声明には、Long Covid Scotland、Covid Pledge Campaign、オクスフォード大学のプライマリケア学教授トリシャ・グリーンハルフ氏らも署名している。教授はパンデミック当初からマスク着用の重要性を主張してきた。

公認安全衛生資格を持つクリニシャンデヴィッド・オズボーン氏は、「WHOはヘルスケア施設におけるマスク着用を引き続き勧告している。スコットランド当局が、どのような根拠に基づいて、感染弱者を危機に陥れる政策変更を行ったのか？」と語っている。

Scottish Healthcare Workers Coalitionのシヨン・ピーター・クレシ氏は、多くの健康弱者は、医療機関を受診することで、健康が大きく損なわれるのではないかと言う当然の懸念を抱いている。スコットランド当局は、新型コロナが空気感染すると言う科学的証拠に基づいて、対策を講ずるべきである」と語った。

スコットランド政府のスポークスパーソンは、5月に発表した方針が「スコットランドのコロナ感染状況が徐々に改善しているという認識のもとに策定されたものだ。5月のガイダンスでマスク着用義務が解除されたからと言って、医療スタッフ、医療機関利用者がマスクを着用することを禁止したものではない」と述べている。

東京都で新型コロナ「緩やかな増加傾向」 複数の感染症が同時に流行 搬送先がすぐに決まらないケースも：東京新聞 TOKYO Web (tokyo-np.co.jp)

東京都の救急搬送困難事案件数(コロナ疑い)

